

## 第3期伊佐市地域福祉計画（素案）に対する意見公募の結果について

市では、令和5年度を始期とする「第3期伊佐市地域福祉計画」を策定するに当たり、計画（案）に対する市民の皆さまの御意見等をうかがう意見公募（パブリックコメント手続）を実施しました。

その結果、2通（26件）の御意見をいただきました。それらの御意見と市の考え方は以下のとおりです。

### 1 結果概要

#### （1）募集方法等

募集期間	令和5年2月9日（木）～令和5年3月10日（金）
意見提出方法	郵送、FAX、メール又は持参
計画（素案）の公表場所	福祉課（大口庁舎）、地域総務課（菱刈庁舎）、市ホームページ

#### （2）意見数

提出数	2通（持参1通、メール1通）
意見数	26件

#### （3）項目別の意見数

第1章 計画の策定にあたって	5件
第2章 地域をとりまく現状と課題	13件
第3章 施策の展開	1件
第4章 施策の展開	5件
第5章 計画の推進	1件
その他	1件



【第1章 計画の策定にあたって】

No.	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
1	1	計画策定の趣旨	教育を最初に持ってきた方が良いと思います。(人を育てないことには何も生み出すことはできない)	文章の前段の「福祉の領域だけでなく～」から続く、その他の分野の例示になります。これらの表記は並列に表記していますので、「教育」の表記が後ろあるため、「教育」の優先順位が劣るというものではありません。
2	3	再犯防止等の推進に関する法律	伊佐の再犯の内容と率はどの位ですか。それに対する対策は。	刑法犯12人、覚醒罪取締法1人。再犯率59%。(伊佐湧水警察署管轄分。令和2年法務省矯正局犯罪統計データから)。40、41頁にある伊佐市再犯防止推進計画をもとに対策に取り組みます。
3	5	成年後見制度促進計画	使い勝手の悪い制度だと聞いているが内容を詳しく知りたい。	伊佐市成年後見センター(伊佐市役所大口庁舎 長寿介護課内)にお問い合わせください。
4	6	SDGsとの関連	この項目を伊佐の実態に合わせて分かりやすく作り直して欲しい。	SDGsについては、国連加盟国で採択された目標であるため作り直すことはできませんが、上位計画の総合振興計画では基本目標の中の施策ごとに関連するSDGsの目標を掲載しています。
5	6	SDGsとの関連	伊佐市の「笑顔あふれ一人ひとりがしあわせ感じるまち」や「SDGs」とどのようにリンクしているのでしょうか。	上位計画の総合振興計画では基本目標の中の施策ごとに関連するSDGsの目標を掲載していますので、総合振興計画を御覧ください。

【第2章 地域をとりまく現状と課題】

No.	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
6	7	国の動向	国の動向はよくわかった。これを受けて伊佐市の実態に合わせて「伊佐の動向」を分かりやすく文言化していただけたら理解しやすいと思います(自分ではできませんが)	国の動向を掲載しているのは、国が「地域共生社会の実現」を要請していることがわかるように掲載しています。「伊佐の動向」については、第2章 地域をとりまく現状と課題に掲載し、まとめをP23～P25に掲載しています。

7	8	総人口及び高齢化の推移	<p>少子高齢化、危機的状況ですね。生まれてくる子供一人ひとりを大事に育てなければまちはどうなるのでしょうか。今の教育を幼児教育から見直してみる必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
8	9	高齢者の状況	<p>介護保険の申請は増加しているのに、介護保険給付額は前年に比べて給付額は、減少しているのは何故でしょうか。その原因を明らかにされましたか。</p> <p>年金暮らしの高齢者は申請し介護保険を使いたくても金銭的に使えないのが現状ではないのでしょうか。</p>	<p>令和3年度の介護サービス給付費がその前年度より減少したのは、新型コロナウイルス感染拡大により、デイサービスやデイケアといった通所サービスと短期入所を含む施設サービスの利用制限や利用を控える人があったためと分析しています。</p> <p>介護保険サービスの自己負担額の割合については、国が定める基準に基づき所得や世帯構成等で定められています。</p>
9	9	高齢者の状況	<p>要介護5の方が少なくなってきたというのは審査基準が厳しくなってきたのでしょうか。それとも体力維持に努めておられるからでしょうか。</p>	<p>認定につきましては国の基準に基づいて調査を行っており、伊佐市だけが特に厳しい判定をしているわけではありません。認定率が低いことの要因として、第8期介護保険事業計画では、「高齢になっても農業などで体を動かす環境にあることや、近隣の家族等の支援を受けやすいといった側面が一つの理由として考えられますが、その他の要因については引き続き分析が必要です」と掲載しています。</p>
10	12	特殊出生率	<p>伊佐市は特殊出生率が高いですが、どのように考えておられるのでしょうか。伊佐市としての「少子化対策」はどのように考えておられるのでしょうか。</p>	<p>特に過疎地域などでは、若い世代の減少が大きいため、合計特殊出生率が改善しても出生数にはあまり反映されない状況にあり、出生数の増加のためには若者の転出超過の抑制が最も効果的な方法となります。また、子育て世代の減少を抑制できるよう、子どもを産み育てやすい環境づくり等が重要と考えます。</p>

11	13	生活保護の状況	生活保護を受給されている方の暮らしぶりについてはあまりいい話は聞きません。就労の働きかけ等強くすることはできないのでしょうか。また、どの年齢層の方が受給者として多いのでしょうか。	稼働年齢であって障害や傷病で働けない方を除いては、毎月、求職活動報告とあわせて面談をおこなっています。また、必要に応じてハローワークへ同行訪問するなど支援していますが、現状、資格や技能、雇用条件等厳しい環境にあり、早期就労に向けて粘り強く支援していきたいと考えています。また、生活保護は高齢者世帯が多くなっています。
12	13	生活保護の状況	生活保護世帯数が減少しているが、受ける基準が厳しいなどの原因はないのでしょうか。生活保護を受けている方は、医療扶助より介護扶助が増えてきているとのことですが生保を受けているどの世代が多いのか。生保を受ける世代によっては教育扶助や住宅扶助が増えるのでは。分析結果を教えてください。	生活保護については、世帯構成、年齢によって地域ごとに国が定める基準と世帯の収入との対比によって保護の要否を判断しています。生活保護の相談では67%、受給世帯では64%が高齢者世帯を占めており、それに伴って介護扶助（在宅サービス、施設サービス）の需要が増加しています。教育扶助は義務教育課程を対象にしており、住宅扶助では持家を居住用として活用する場合はほとんどで、現在のところ教育扶助、住宅扶助が増加するとは考えにくいと分析しています。
13	15	自治会の状況	人間関係のわずらわしさ、むずかしさを感じて入会されない方もいらっしゃるかもしれませんね。とても難しい問題だと思います。	御意見については、今後の参考とさせていただきます。
14	15	コミュニティ、自治会の状況	私はUターン時、自治会入会を勧められました。自治会の役割やメリットについての説明はありませんでした。知人からいろいろと言われ入会して活動ができるのか不安に思いました。現在はわかりませんが転居時に自治会の活動内容やメリットデメリットの説明があると判断できるかと思います。	自治会によって活動内容はそれぞれありますので、一概にメリット、デメリットの判断は難しいところです。 また、転入・転居の際の窓口での自治会加入のお勧めについては丁寧に行っていきます。

15	15	コミュニティ、自治会の状況	山野地区の自治会の加入率は高いのはどのような理由があるのでしょうか。加入率の高いところの分析も紹介されると参考になるかと思いました。特に若い方の加入率が低い傾向になるので、若い方にも魅力的な自治会活動ができるといいと思います	山野地区に限ったことではありませんが、高齢化率が高い地区のほうが自治会加入世帯率は高い傾向にあります。また、後段の御意見については、今後の参考とさせていただきます。
16	15	コミュニティ、自治会の状況	自治会の行事や地域活動に参加する楽しみや意義を具体的にどのようなにしたらよいとお考えですか。特に高齢者も参加できるようにしたらどうしたらよいか、若い世代から考えないと高齢者になったらできることではないのでは。	27頁に掲載していますが、まずは地域のことを知り、学ぶことで地域福祉を理解することから進めていくことが必要だと考えます。また、後段の御意見については、今後の参考とさせていただきます。
17	23	アンケート調査結果	知恵を出し合って具体策を立てれば少しは前に進められるかもしれませんね。	御意見については、今後の参考とさせていただきます。
18	24	福祉の担い手について	私自身具体的な話を聞いたことがないし、広報誌も気づくことがありません。どのように情報収集したらよいのでしょうか。ホームページやパブコメの結果を見るようにと言われても多くの方が見るすべもないのでは。もう少し丁寧にお知らせくださるようお願いいたします。	社会福祉協議会においては、年4回社協だよりを発行しているところです。情報発信については、31頁に施策の展開を掲載していますが、広報紙のほかホームページやSNSなど各種広報媒体を効果的に活用し、積極的な情報発信に努めます。

### 【第3章 施策の展開】

No.	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
19	30	地域福祉計画の圏域の考え方	目標は多々ありますが、達成目標が示されていると達成感があるのではないのか。また、多く目標全て実践するのは困難では。絵に描いた餅よりも最も必要な課題を中心に取り組んだ方がいいように思いますが如何でしょうか。必要性は理解できますが・・・	この頁には、地域福祉計画の圏域のイメージ図と圏域ごとの考え方や施策の取り組み例を掲載しています。目標は第4章の施策の展開に掲載しています。また、4頁にありますが、数値的な目標は個別計画で進捗管理することとし、本計画は、個別計画では網羅できない課題への対応や取り組むべき方向性について策定しております。

【第4章 施策の展開】

No.	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
20	31	②地域福祉に関する意識の高揚	「社会福祉大会」を「市民が考える人権の集い」と一緒に開催したら多くの方に参加してもらい福祉や人権について理解を貰えるのではないのでしょうか。	御意見については、今後の参考とさせていただきます。
21	31	③福祉教育の機会の提供	学校とどのような連携をとってどの目標実施するのでしょうか。身近な高齢者との触れ合いも目標を明確にしたら福祉を身近にできるのではないのでしょうか。	学校とは教育委員会を通じて連携を取ります。また、4頁にありますが、数値的な目標は個別計画で進捗管理することとし、本計画は、個別計画では網羅できない課題への対応や取り組むべき方向性について策定しております。また後段の御意見については、今後の参考とさせていただきます。
22	32	郷土の歴史を知り、次世代に引き継いでいきましょう	大切なことと思います。伊佐には多くの歴史がありますが、教育の中でどのような位置づけをもって授業に取り入れるのですか。また、市の企画ではどのように考えているのでしょうか。	施策推進のために市民・家庭でできることをなるべく平易に掲載しています。教育の中の位置づけについては地域福祉計画の範疇ではないため回答は特にありません。市としては、ふるさと学寮や各種体験活動などの各地域における体験、学習機会の提供に対する支援を行います。
23	33	①顔の見える関係づくりの推進	走る魚屋さんが週2回きてくださいます。隣近所の方と顔を合わせる良い機会となっています。短い話ができ、深入りせず適当な距離を保ちながらお付き合いができています。買物の困難な地域に走る・・・屋さんが来てくださると見守りにもなるのではないのでしょうか。	本市では、近隣に生鮮食品や日用品を扱う商店がないため、自力での買い物が困難な「買い物弱者」への対策として、冷蔵機器等を備えた移動販売車の導入に係る経費の補助があります（令和4年度9月補正予算及び令和5年度当初予算）。御意見については、今後の参考とさせていただきます。
24	41	⑤国・民会団体等との連携強化等	保護司の活動がまだまだ周知されていないと思います。担い手探しにも苦労されています。保護司の果たす役割等、市民に知ってもらえるよう「社会を明るくする運動」だけでなく広報をして欲しいです。	再犯防止にあたっては保護司の活動は大変重要なものと捉えております。御意見については、今後の参考とさせていただきます。

【第5章 計画の推進】

No.	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
25	43	計画の進行 及び進行管 理	ぜひ、市民を巻き込んで、実行して欲しいです。そして、その結果は公表してほしいです。そうすれば少しずつではあると思いますが市民の意識も深まっていくのではないのでしょうか。	市民だけではなく行政、社会福祉協議会などの社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む必要があります。定期的に伊佐市地域福祉計画推進委員会において本計画の進行管理をしていきます。御意見については、今後の参考とさせていただきます。

【その他】

No.	頁	該当箇所 (項目等)	御意見	市の考え方
26		その他	ごめんなさい。よく理解できない所がたくさんありました。行政を知りたいと思ってパブコメに参加しています。	本計画だけでなく、他の公文書等もできるだけ分かりやすい言葉を使うようにします。行政に興味を持ち、御意見いただきありがとうございます。